

在宅医療・介護を受けている方、ご家族の方へ ごみの分別にご協力をお願いします

◆各家庭から出る在宅医療・介護関連ごみの一部に分別が不適切なものがあり、ごみ処理に支障が生じています。

特に  プラごみ（プラスチック製容器包装）は、分別が不適切で混入したその他ごみの汚れが付着した場合、資源化できないことがあります。こうしたことを避けるため、クリーンセンター職員が手作業で選別しています。

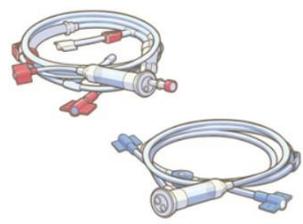
プラスチック製容器包装の袋で捨てられるごみ（資源化できるごみ）は  （プラマーク）の表示があり、汚れが付着していない容器包装ごみ だけです
在宅医療・介護関連ごみは下記の分別方法を参考に排出してください

プラスチック製容器包装の袋へのその他ごみ混入の実例（撮影場所：宮津与謝クリーンセンター）



医療用チューブ、注射筒、オムツなどが定期的に混入している状況です。

在宅医療・介護用品等の具体の分別方法について

ごみの種類	バッグ類 (輸液・CAPD・栄養剤など) 	チューブ・カテーテル類 	おむつ・ストーマ装具・畜尿バッグ 
袋の種類	プラ製容器包装 (透明に青字) 燃やさないごみ(赤色)	燃やすごみ(黄色)	燃やすごみ(黄色)
留意点	チューブは取り外し、プラマークありのものはプラ製容器包装、ないものは燃やさないごみとして排出	感染症のおそれのため、燃やすごみとして排出	内容物はトイレに流してから排出

※ 注射針など針付きのものは、かかりつけの医師や購入した薬局に相談してください。